6/12

14日、全学総決起集会（1時 工学部前）＝15日、御堂筋10万人占拠斗争に総結集せよ！

（全共斗、医共斗主催）

ラディカリズムを組織し、御堂筋へ爆発せしめよ！

学内のあらゆるラディカルな自治権力を粉砕、70年安保粉砕、6・15御堂筋占拠に向けて組織せよ！

市大の全ての教職員、院生、学生諸君！　今、政府ヌルショアミーは国会の会期を10日間延長し、政府二法案、健康保険特別改正法案、そして大学法案と、まさに70年の前哨を厳然たる定期法、健康保険特別改正法案、そして大学法案と、まさに70年の前哨を厳然たる一つ一つ粉砕せんとしている。更に5月の佐藤外相訪米、6月のASPAC会議という外交日米反共軍事同盟のアジア支配を確認し、江戸侵略訪米に向けヌルショアミーは全力をあげて、国内外の支配を狙っている。従って今こそ全ての人民が決起しなければ、ファシズムへの道を容易に可能ならしめるであろう。我々はベトナム反戦運動の大衆的な広がりと革命性を知っているし、実践してきた、そして更に大学の新国家主義的再編に対し全共斗運動として矛盾を告発し、斗ってきた。この最近数年間の情勢は、きわめて70年に向って緊張を高めさせたものであり、現在の資本主義、帝国主義の矛盾を止揚すべく斗かわれてきものであった。大学においては更に、日大闘争を突き出た政力として活動的な広がりを持つ中で、政府そして国大投資主義制路線を自己否定ものにし、大学当局という権力的支配形態を打出さしめる状況を作り出したのであった。大学の帝国主義的矛盾とは、具体的には教授会自治、評議員制、産学協同、等々といった形で現われ、学問、研究、真理の探究を大学の資本主義的技術、本質を隠蔽する役割しかもたらすなり、メルショア政策強意図に横すべりしたまま、授業料値上げ、学生諸君は二重に前と思う異常な学生の怒りを告発してきたし、今なお封鎖を貫徹している。全ての教職員、院生、学生諸君は二重にもの厳しい矛盾を理解し、6・15立命という形で行動提起がなされているとき、あらゆる可能な方法で大学当局という権力的支配形態を打破しなければならないだろう。市大では今、あらゆる自治権力を行動を行わねばならない。沖縄三宝勝利、70年安保粉砕の意義をもって積極的な行動を形成し、御堂筋を埋めつくそうという試みを行なわれている。全市大の相互関係は、あらゆる手段でもって、6・15御堂筋占拠斗争へ決起しようではないか。ラディカリズム を御堂筋へ爆発せしめよ。

大学当局の収拾策動＝レポート提出拒否せよ。

大学当局は文部省指導によって試験強行貫徹を確認されて、現在各学部にレポート提出を強要している。このレポート提出は①当学なし崩し的収拾、②試験、単位制度そのものへの検討及び改革制度廃止、③自治会活動切りの相対への圧殺＝中教審答申の具体化という意味において犯罪的である。とりわけ第3点目においては二重に犯罪的である。即ち第一に中教審答申の具体化＝自主規制を積極的に行なおうとしていることであり、第二に、そのことを行なわないなら、お出教室及びスト学生法反対とは叫んでいることである。若者は法務省とは自民党に法制化を止めてもらうことではない。我々は具体的に粉砕しようと力を強め、具体化させること以外にはない。そのようなことをそもそもなら法廷闘争とは今度のレポート提出拒否のことでもある。　反対を叫びながらレポート提出を拒否せよ。

理論合宿への招待（詳しくは全共斗事務局へ）

◇大学斗争論（13日、9時PM～）（対象者：学生の自己意識とは　大学改力相対論、運動論etc）

市大全共斗

6/12